

あきる野市教育委員会 7 月定例会会議録

- 1 開催日 令和 5 年 7 月 2 6 日（水）
- 2 開催時刻 午後 2 時 0 0 分
- 3 終了時刻 午後 4 時 4 5 分
- 4 場 所 あきる野市役所 5 階 5 0 5 会議室
- 5 日 程 日程第 1 議案第 1 5 号 令和 6 年度使用教科用図書（小学校）  
の採択について  
日程第 2 教育長及び教育委員報告
- 6 出席委員 教 育 長 丹 治 充  
教育長職務代理者 田野倉 美 保  
委 員 小 西 フミ子  
委 員 坂 谷 充 孝  
委 員 岡 部 秀 敏
- 7 欠席委員 なし
- 8 事務局出席者 教 育 部 長 渡 邊 浩 二  
指 導 担 当 部 長 三 品 孝 之  
生涯学習担当部長 遠 藤 文 寛  
教育総務課長 木 村 紋 子  
教育総務担当課長 石 川 尚 昭  
教育施設担当課長 岩 崎 徹  
学校給食課長 森 田 速 人  
指 導 担 当 課 長 佐 藤 宗 一 郎  
生涯学習推進課長 沖 倉 英 基  
スポーツ推進課長 一 瀬 秀 和  
図 書 館 長 山 根 悟  
指 導 主 事 宇 佐 美 拓 郎  
指 導 主 事 近 藤 壮 一 郎
- 9 事務局欠席者 学校給食センター建設準備担当課長 和 田 達 也

開会宣言 午後 2 時 0 0 分

教育長（丹治 充君）

皆様、こんにちは。本日は、大変お暑い中、そしてお忙しい中をご出席をいただき誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまからあきる野市教育委員会 7 月定例会を開催いたします。

本日は教育委員全員が出席しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 4 条第 3 項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

なお、傍聴希望がありますので、許可をしたいと存じます。また、傍聴の申込みが多数見込まれましたので、あきる野市教育委員会傍聴規則第 2 条の規定によりまして、傍聴の定員を 1 0 0 人といたしました。

事務局は和田課長が欠席をしております。

まず、議事録署名委員の指名については、田野倉委員と坂谷委員を指名いたします。

それでは、議事日程に従って会議を進めます。

なお、本日の議事につきましては、令和 6 年度使用教科用図書（小学校）の採択について 1 件のみとなっております。

また、本案件のあきる野市公立小学校の教科書採択権限は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 1 条第 6 号の規定により採択を行います。

なお、本日の採択につきましては、国語、書写、社会、地図、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、保健、外国語の英語、特別の教科道徳の各教科順で採択を行ってまいります。

それでは、議事に入ります。

日程第 1 議案第 1 5 号令和 6 年度使用教科用図書（小学校）の採択についてを上程します。

まず初めに、指導担当部長から説明をお願いいたします。

指導担当部長。

指導担当部長（三品孝之君）

議案第 1 5 号令和 6 年度使用教科用図書（小学校）の採択についてご説明いたします。

教科用図書採択につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第 2 1 条第 6 号により、教育委員会に職務権限が定められております。これに基づき、本市ではあきる野市公立学校教科用図書選定要綱を定め、あきる野市立公立学校で使用する教科用図書を採択、決定することについて、教育委員会の責任を明確にしております。

今回採択いたします令和 6 年度使用教科用図書につきましては、4 年間使用する教科用図書であります。あきる野市教育委員会といたしましては、教科用図書の採択が専門的な教科用図書研究に基づき適切かつ公正公平になされるよう、専門性の高い教員で組織する教科専門部会、管理職で組織する調査委員会、そして市民、行政、学校の代表から成る選定資料審議会の組織をつくり、それぞれの立場から調査研究及び選定資料の作成を進めてまいりました。

また、教科用図書見本本の回覧につきましては、5月上旬から約3週間学校に回覧し、学校からの意見を収集いたしました。さらに、教育委員の皆様がいつでも閲覧、研究ができますよう、ご自宅に教科用図書の見本本を送付させていただきました。令和6年度使用教科書展示会につきましては、6月1日から7月4日までの展示会期間中に、延べ76名の市民の方々に閲覧していただき、広く皆様のお声をいただくことができました。教科用図書の採択に当たって用意いたしました資料は、こうした調査研究を踏まえて選定資料審議会が取りまとめた報告書であります。本日は、令和6年度から令和9年度における小学校の各教科等の授業で使用する教科用図書の採択につきましてご審議をお願いいたします。

この後、配付資料等詳細につきましては、指導担当課長からご説明申し上げます。

教育長（丹治 充君）

それでは、続いて指導担当課長、お願いします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、教科用図書選定資料審議会資料につきましてご説明いたします。

本年6月8日に開催されました第1回教科用図書選定資料審議会におきまして、あきる野市立東秋留小学校、田中淳志校長を審議会委員長に選任し、公正な教科用図書採択事務手続の説明とともに、審議委員の方々に進めていただく調査研究の内容及び日程等について確認いたしました。その後、7月7日に第2回教科用図書選定資料審議会を開催し、報告書を作成いたしました。

審議会での協議において、基本資料としたのは小学校の校長及び副校長を中心とした専門性の高い教員によって調査研究を行った教科用図書調査委員会の報告書でございます。審議会では、実際に各教科用図書と照らしながら、内容の選択、配列・分量、表記・表現、使用上の便宜の4つの項目につきまして、客観性の有無等協議検討し、教科用図書選定資料審議会報告書を作成いたしました。また、教科書展示会を行った際に、市民の方々からご記入いただいたアンケートにつきましても、採択の参考としていただきたく、過日委員の皆様にお渡ししたところでございます。

資料の説明につきましては以上でございます。

教育長（丹治 充君）

説明が終わりました。

それでは、質疑に入ります。

質問等ございましたら、お願いいたします。よろしいですか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、ないようですので、次に事務局より国語から順に審議結果を説明していただき、教科ごとに採択をまいります。

それでは、指導担当課長、説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、教科用図書選定資料審議会による審議結果につきまして、教科ごとに特に評

価の高かった教科用図書を中心に報告いたします。

初めに、国語の審議結果についてです。国語の教科用図書は、3社から発行されており、現在採択されている教科用図書は光村図書出版でございます。審議会において特に評価の高かったものは、教育出版と光村図書出版です。

教育出版は、全学年が上下巻に分かれているので、持ち運びやすいこと、単元の進め方が明確で分かりやすいこと、思考ツールや図解を扱っていて見やすいことなどの点で評価されました。

光村図書出版は、学習の流れが一目で分かるようになっていて、読むことの領域で学んだことを書くことの領域に生かせるよう、単元の配列が工夫されていること、他教科と関連した学習がしやすいよう、多様なジャンルやテーマの作品を扱っていることなどの点で評価されました。

東京書籍につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

国語の教科書の説明が終わりました。

次に、委員の皆様からご意見を頂戴した後、推薦図書をそれぞれ発表していただければと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、そのようにお願いしたいと思います。

それでは、委員の皆さんからご意見を頂戴したいと思います。

田野倉委員。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

国語は、3社から出ていますが、どの教科書も話す・聞くこと、書くこと、読むことという3つの能力がバランスよく適切に育まれるように、非常によく考えられていると思いました。また、ユニバーサルデザインを意識したカラーや書体を使い、見やすく読みやすいと感じます。その中でも、光村図書は2学年以上の冒頭で「国語の学びを見わたそう」というページが設定されており、学習の流れを視覚化し、次にその学年で学習する内容を領域別に明確にしているため、児童が見通しを持って主体的に学習できると感じました。内容では、児童が読みたいと思えるような意欲を引き出す文章や作品が多いと思います。巻末の付録「学習を広げよう」が非常に充実しており、各学年の「大切なまとめ」や「本の世界を広げよう」では、それぞれの発達段階に適した本の紹介、「言葉の宝箱」では語彙を豊かにするための工夫が感じられます。

以上のことから、私は選定資料審議会での評価も高い光村図書を推薦したいと思います。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、小西委員。

委員（小西フミ子君）

私もいろいろ迷ったのですが、光村図書を推すことにしました。内容が豊富であること、紙コップで花火をつくったり、図工、理科、英語のような、ほかの科目にも使えそうなものも説明したり、楽しめてよいと思いました。イラストも文字の読みやすさもよいと思い

ます。俳句や詩、特に5年生では指文字も描かれていたことなどは、これは障害のある、なしにかかわらず、一般の方が覚えても大変便利であることを体験しています。指文字が大人になってからではなく、この学年で表示してあることによさを覚えました。そういった点から光村図書を推すことにしました。

以上です。

教育長（丹治 充君）

続きまして、坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

いずれの教科用図書も話す・聞く、書く、読む、言語活動を通して国語で正確に理解し適切に表現する力をバランスよく学べるように考えられていると思います。特に光村図書出版が、柔らかな昼光色の紙面で、文字や挿絵、写真の大きさ、配置に配慮を感じ、とても読みやすいと思いました。また、2年生からは、巻頭の「国語の学びを見わたそう」で、これまでの学びを振り返り、これから学ぶ内容を俯瞰することができます。学習の見通し、ポイントを理解することができると思います。また、二次元コードを使って人物の紹介や資料の解説動画を見聞きすることができ、必要に応じて置いて使用することで効果的な学習ができると感じました。光村図書出版を推薦いたします。

教育長（丹治 充君）

続いて、岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私も光村図書を推薦します。各教科書会社とも、学ぶ子どもたちの姿勢についても述べられていますし、使われている文字、ルビ、表現等適切に作成されていると思います。その中でも、安全性が求められている子どもの自転車のヘルメット使用が気になり、そういう面でも見させていただきました。また、ICT、ユニバーサルデザイン、それからSDGs、それも各社とも適切に使われていると思いますが、その中でも点字、手話等が光村図書のところでは効果的に扱われているのではないかとということで、光村図書をここでは推薦させていただきます。

以上です。

教育長（丹治 充君）

それでは、最後に私のほうからも述べさせていただきます。国語の教科書を作成している3社の出版本を参考として、まずこの調査の中で光村図書についての調査をさせていただく中で、各社による内容の選択あるいは配列・分量、表記・表現、そして使用のしやすさなど、それぞれ3社の特色が見られました。光村図書の内容の選択、観点及び配列・分量も適切であり、児童の主体的な学習活動の進め方が単元冒頭に見通しを持ち学習しやすいつくりとなっているように思われました。さらに、デジタルコンテンツの内容が多彩であるというような印象を持ったわけでございます。以上です。

ただいま意見等を述べていただきましたけども、そのほかに何かございませんか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、早速国語の教科書につきましてお諮りいたします。

皆様のご意見のように、光村図書の推薦が多いと思います。それでは、皆様の意見を総合しますと、異議なしということによろしいですか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、令和6年度の使用教科、国語につきましては光村図書を採択いたします。

続きまして、書写の説明を指導担当課長、お願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

書写の審議結果について報告いたします。

書写の教科用図書は、3社から発行されており、現在採択されている教科用図書は光村図書出版です。審議会において特に評価の高かったものは、教育出版と光村図書出版です。

教育出版は、目次に1年間の学習内容が分かりやすく示されていること、見開きの右ページには文字、左ページには書くときのポイントという構成が分かりやすいこと、デジタルコンテンツのこま撮りアニメーションによって筆の持ち方などが具体的に示されていることなどの点で評価されました。

光村図書出版は、学習内容のバランスがよく、学習の流れが分かりやすく示されていること、字形のポイントとなる内容を直接書き込むことができること、児童の発達段階に合わせて学習の振り返りができるよう、工夫されていることなどの点で評価されました。

東京書籍につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

書写の教科書の説明が終わりました。

次に、委員の皆様からご意見を頂戴いたしまして、推薦図書をそれぞれ発表していただきたいというふうに思います。なお、ご意見につきましては、国語同様に田野倉委員のほうからご意見いただければと思いますが、よろしいですか。

それでは、田野倉委員、お願いします。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

私は、光村図書を推薦したいと思います。まず、お手本の字が大きく、美しいと感じました。とめやはらいなども濃淡をつけていて、分かりやすい工夫がされています。姿勢や筆の持ち方など基本的な事項が分かりやすく記されています。書写への関心を高めるページ「もっと知りたい」を設定し、児童が主体的、能動的な学習ができるようになっています。デジタルコンテンツも豊富で、動画、写真、補助教材、参考資料など、活用しやすい内容が豊富にあります。例えば左手で書く人用の動画ですとか、それぞれの児童の名前のお手本などは、非常に実践的で役に立つのではないかと思います。4年生のSDGsブックでは、SDGsを達成するために自分ができることを考えるようになっており、また6年生の書写ブックでは手紙の書き方、はがき、原稿用紙の使い方、新聞やポスターの書き方など、6年間をかけて書写で学んだことを日常生活につなげる内容となっています。

以上のことから、私は光村図書を推薦したいと思います。

教育長（丹治 充君）

続いて、小西委員、お願いいたします。

委員（小西フミ子君）

光村図書は、文字のバランスが楽しく、例えば目という文字を階段に例えて、猿を上らせるはしごなど、学年ごとに適した楽しい内容になっています。手紙や作文など発達に合わせての練習になっていると思います。また、書写を始める前の書写体操など取り入れてあり、脳を含め体全体、姿勢を正すことで意識を高めようとするところがよいと思いました。筆の毛先の位置、角度、そしてまた左手で書く人用など、とても分かりやすいと思いましたので、私は光村図書を選びます。

教育長（丹治 充君）

次に、坂谷委員、お願いします。

委員（坂谷充孝君）

どの教科用図書も書くことの基本・基礎となる姿勢や筆記具の持ち方から始まり、筆順、文字の大きさ、よく系統的に示されていると思いました。中でも、光村図書を推薦いたしますが、教材文字が大きくすっきりしており、手本としてとても適していると感じました。また、3年生以上では学習の進め方、考えよう、確かめよう、生かそうで学習の流れをイメージし、主体的に取り組めるものとなっています。また、他教科での書き方であったり、アルファベット、連絡帳やノートの書き方など、他教科や日常生活に生かせる教科用図書となっています。また、二次元コードで、筆の運びやポイントを角度を変えて確認することができる点がいいなというふうに思いました。

以上です。

教育長（丹治 充君）

次に、岡部委員、お願いいたします。

委員（岡部秀敏君）

私も、光村図書を推薦したいと思います。各教科書会社とも基本を押さえて、きちんと教科書を作成されているというふうに思います。先ほど言いましたけど、ICT、ユニバーサルデザイン、SDGs、これらについても踏まえられていると思います。また、教育出版社では、チョークでメッセージボードを示して、書写を習うその応用編等も示されておりました。光村図書のほうは、特に1年生の導入が分かりやすかったかなと。また、2年生での筆の扱いが申し訳ありませんが、他の会社よりもよかったのかなというふうに感じました。

以上で、光村図書を推薦させていただきます。

教育長（丹治 充君）

最後に、私のほうからは国語の教科書同様、3社の教科書内容について比較いたしました。光村図書は、児童の具体的な生活場面について設定されておりまして、児童が興味関心の持ちやすい教科書のつくりとなっているように思われます。また、学習の流れが分かりやすく構成されており、振り返り学習についても考慮され、特に動画の活用を使用して、学びやすい教科書となっていると思います。

意見等については、それぞれ述べていただきましたけれども、そのほかに何か補足等がございますでしょうか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、書写の教科書につきましてお諮りいたします。皆様方から伺いましたように、光村図書を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、異議なしと認めて、令和6年度の使用教科、書写につきましては、光村図書を採択いたします。

なお、この後社会のほうにまた入ってまいります。途中教科書等をまた再点検したいというようなことがあれば、お申し出ていただいて書籍についてご覧になっていただいて結構でございます。

続きまして、社会の説明を指導担当課長、お願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

社会の審議結果について報告いたします。

社会の教科用図書は、3社から発行されており、現在採択されている教科用図書は東京書籍です。審議会において特に評価の高かったものは、東京書籍と日本文教出版です。

東京書籍は、内容、配列・分量が適量で、教員にとって使いやすいこと、つかむ、調べる、まとめるという単元の構成が明確で分かりやすいこと、各単元においてデジタルコンテンツの追加資料等を活用することで、学習内容を深め、広げることができることなどの点で評価されました。

日本文教出版は、「深め合い」の進め方が示されており、互いに話し合ったり聞き合ったりする活動を扱っていること、各単元でSDGs等の今日的な話題に対応していること、巻末の索引が使いやすいことなどの点で評価されました。

教育出版につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

社会の教科書の説明が終わりました。

次に、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。

それでは、田野倉委員、よろしいですか。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

社会は、3つの教科書会社から出ていますが、その3社を比べると、東京書籍のみ5年生の教科書が上下巻、6年生は政治・国際編と歴史編の2分冊に分かれています。教育出版と日本文教出版は、全学年で1冊ずつになっています。6年生の社会を学ぶ順番ですが、まず、政治・国際編で政治を学んで、次に歴史編を学び、そしてまた国際編に戻るという流れになるので、1年間に学ぶ内容が1冊に網羅されているほうがすっきりするのではないかと個人的には思いました。

また、市民アンケートも拝見させていただきましたが、あきる野市の児童にぜひ学んでもらいたいこととして、五日市憲法草案を取り上げている方がかなりいらっしゃいました。



その内容がどのように取り上げられているかという点で、教科書を比較すると、東京書籍と日本文教出版は五日市憲法草案の記念碑、五日市中にある記念碑の写真と、その内容のみの掲載であるのに対し、写真の掲載はないものの、内容やその特色にも踏み込んで取り上げているのは教育出版であると感じました。教科書の191ページの「やってみよう」というコーナーで、大日本国憲法と五日市憲法と今の日本国憲法を比べて特徴を考えてみようとあったり、「まなびリンク」で二次元コードを読み込むと、それぞれの特徴を書き込めるワークシートも付随しています。あきる野市民として、子どもたちにこの五日市憲法草案がこの地で生まれたことを誇りに感じる内容となっていると思いました。

教育出版ですが、巻頭につかむ、調べる、まとめる、つなげるを繰り返していく社会科の学習の進め方が書かれており、調べたり考えたりする力が身に付く構成となっています。原則として1時間単位の内容が見開き2ページで構成され、この時間の問いに目当てが明確に示されているため、児童にも指導者にも分かりやすく、学習の見通しを持ちやすいと思います。また、写真やイラストの色彩が美しく、文字も読みやすいように、よく配慮されています。資料も豊富でデジタルコンテンツが児童の関心や意欲を高め、主体的に楽しく学べるよう工夫されています。SDGs、領土の扱い、防災教育など、今日的な課題への取組も適切であるというように思いました。

以上のことから、選定審議会の中では東京書籍の評価が高いものの、個人的には教育出版を推薦したいと思います。

教育長（丹治 充君）

続いて、小西委員。

委員（小西フミ子君）

私は東京書籍を選びました。5年生からは上下巻、6年生からは歴史、政治・国際編と2冊に分かれています。これはいったい6年生の場合2冊ずつ持っていくのか、それとも学校に置いておくのか、重さが違うなというところも考えたんですけども、あと4年生では各都道府県の形をジグソーパズル形式にして、ゲーム感覚で覚えられそうなカードとなっているのも面白いと思いました。五日市憲法草案について触れてあることも、あとこの地球のためにごみの行方を意識させることもとても大事なことだと思いました。

よって、東京書籍を選びました。

教育長（丹治 充君）

続いて、坂谷委員、お願いします。

委員（坂谷充孝君）

社会につきましては、社会的な見方、考え方で対話しながら問題解決的な学習を進めるづくりに、どの社もなっているとは思いますが、また、五日市憲法についての取扱い、私も見させていただきました。おっしゃられたように、東京書籍、日本文教出版では記念碑の写真掲載と、国民の権利についての記載があり、教育出版では国民の権利について詳しく書かれているなというふうに感じました。ただ、五日市憲法草案の記載についてなんですが、教育出版のほうが五日市憲法というふうに記載されていて、正しく言うのであれば五日市憲法草案だろうなというふうに思いますので、こちらにつきましてはもし使う際にはそれを注意して説明する必要があるなというふうに感じたところです。日本文教出版及び東

京書籍のほうでは憲法草案ないしは五日市憲法草案というふうに書かれていましたので、その辺が気になったところです。

その上で、私は教育出版が割といいなと思ったところでもあります。図や絵、写真が鮮明で、AI技術ですとか資料を基にして、白黒写真をカラー化した画像が掲載されていて、昔のことに関して児童の関心を高める効果があるなど、興味深いなというふうに思いました。また、1冊なのか2冊なのかというところがございませうけれども、それにつきましてはなかなか判断が難しいところではありますが、1冊ですと、その1冊で見返したりができるという利点もあるなというふうに思います。しかし、1冊にした分、重くなるというところもあるわけです。2冊に分かれていると1冊で持ち運ぶには軽いんだけど、結局2冊必要だよねってなったときには重いわけですよ。両方よい点、気になる点があるもので、こちらにつきましては現場任せするしかないかなというところではあります。

そして、もう一つが東京書籍がさらによいなと思ったんです。キーワードが言葉という項目で提示されていて、それがまとめる段階で再掲して、もう一度掲載されて活用できるように工夫されていました。また、学び方コーナーでは学習の進め方の方法が示されていて、授業づくりに非常に活用できるんじゃないかなというふうに思いました。それから、つかむ、調べる、まとめる、生かすの流れは、学習を分かりやすく進めていけると感じまして、最終的に教育出版と東京書籍で迷ったんですが、東京書籍のほうは私はいいなというふうに思いました。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私は、3社比べさせていただいて、東京書籍を推薦したいと思います。五日市憲法については、今各委員の皆さんがおっしゃられたとおりですが、先ほど国語のときにも申し上げましたけども、指導していく中での法律的なものということで、ノーヘルでイラストが描かれていたのが教育出版ということで、ちょっと気になりました。東京書籍のほうは、学習の進め方や都道府県ビンゴというものがあったり、まとめる、生かすということで内容の工夫があるのかなということ、それからもう一つ、子どもたちが生きていく中でのスーパーの見取り図も載っていましたが、このイラスト等の見やすさでいくと東京書籍がよかったかなと。そしてアイヌについても扱っていること、それからマイタイムラインについても丁寧に載せているというようなところで東京書籍を推させていただきます。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございます。

私のほうからは、3社の教科書を拝見いたしますと、東京書籍の教科内容の選択が適切な配分量となっているように思われました。また、表記・表現につきましてもUDフォント、いわゆるユニバーサルデザインフォントが使用されていて大変読みやすく、図表等についても効果的に使用されているように思います。また、五日市憲法草案の記述のように、

教科書資料が豊富で本文との調和が取れており、丁寧につくられている教科書ではないかというふうに考えられました。以上でございます。

こうした中で、この社会につきましては田野倉委員が教育出版、あとの方は東京書籍ということですが、田野倉委員、いかがでしょうか。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

東京書籍の教科書も見開き単位で学習活動が分かりやすく例示してあったりですとか、問題解決型の学習ガイドがあったりですとか、非常に学習を深めることが期待できる内容ですので、私としても依存はありません。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

それでは、社会の教科書につきましてお諮りいたします。

皆様のご意見のとおり、東京書籍を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、異議なしと認め、令和6年度の使用教科用図書、社会につきましては東京書籍を採択いたします。

続きまして地図の説明を指導担当課長、お願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

地図の審議結果について報告いたします。

地図の教科用図書は2社から発行されており、現在採択されている教科用図書は帝国書院です。

東京書籍は、全体に情報量が多く、説明が分かりやすいこと、地図を基に考えさせる設問があり、地図を活用する力を向上させる工夫があること、デジタルコンテンツにドローンで撮影した映像が含まれており、地図帳と映像の両方を活用できることなどの点で評価されました。

帝国書院は、「地図マスターへの道」が充実しており、学習を深めるための工夫がされていること、都心部からあきる野市までが見られる地図があり、五日市憲法が地図中に示されていること、説明が精選されており分かりやすいことなどの点で評価されました。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

ただいま地図の教科書の説明が終わりました。

次に、委員の皆様からご意見を頂戴した後、推薦図書をそれぞれ発表していただければというふうに思います。

それでは、田野倉委員。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

私は、帝国書院の地図帳を推薦したいと思います。初めて地図帳を手にする3年生のために、親しみやすいイラストや会話形式を取り入れた導入となっています。巻頭の地図の約束や地図帳の使い方、地図の細かい決まりや使い方について丁寧に説明しています。

地形図の色合いがよく、立体感のある地図表現になっていて、文字の情報も読み取りやすいように感じました。歴史学習や他教科での活用のための資料も豊富で、あきる野や五日市という地名のほかに歴史事項として五日市憲法が掲載してあります。主要な国名などには、英語表記も取り入れ、持続可能な社会の実現に向けてのSDGsの特設ページですとか防災・減災への理解を深める資料も豊富にあります。デジタルコンテンツや47都道府県のデジタル地図というのも活用できるように感じました。

以上のことから、帝国書院を推薦したいと思います。

教育長（丹治 充君）

続きまして、小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も帝国書院を推します。ユニバーサルデザインの観点から見て、色合いが少し淡くなって、目が疲れない。ごちゃごちゃしていないように思います。発達障害の児童などについても、とても分かりやすいのではないかと思います。71ページの見開きの地図には、私たちの住むあきる野市も分かりやすく入っているのがうれしいです。最初のほうは、文字のフォントも優しく、初めて地図帳に出会う児童には入りやすいと思い、帝国書院を推したいと思います。

以上です。

教育長（丹治 充君）

続いて、坂谷委員、お願いいたします。

委員（坂谷充孝君）

地図につきましては、帝国書院を推薦いたします。色彩が鮮やかで、文字もとても読みやすいと感じました。イラスト主体の地図が冒頭にあり、その後詳しい地図が掲載されており、必要に応じて特産物を見るとか、そういった使い分けをすることができると感じました。65ページの関東地方南部の地図には、五日市、五日市憲法の記載があり、ほかにも日本中いろいろな史跡等の記載が他の教科等から眺めることもあるかなというふうに思いまして、よろしいかなと思います。子どもたちが地図帳を広げたときに、五日市憲法の字を見つけて「うちのまちの五日市憲法が載っている」と言っている姿を想像することができていいなと思いました。

以上です。

教育長（丹治 充君）

続きまして、岡部委員、お願いします。

委員（岡部秀敏君）

私も帝国書院を推したいと思います。まず、地図帳を開いてみて、ぱっと見て取り組みやすいなと感じたのは帝国書院です。東京書籍のほうは、情報量が多いんですが、見たときに内容が多過ぎるというような印象を受けました。その点、帝国書院のほうはすっきりして、目的とするものを見つけやすいのかなということ、それから都道府県の名前の基本はきちっと押さえられているということ、もう一点が江戸時代の結びつき、歴史、東京周辺、これを扱ったページがあるということで、帝国書院を推させていただきます。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

最後に、私のほうは帝国書院を考えました。地図の活用にあたっては、特にあきる野市の位置も理解できる内容となっており、全体的に見やすい地図帳となっているように思います。また、児童が地図の見方あるいは考え方など、地図の活用を図る上で興味、関心を呼び起こす工夫も見られるというように思われます。さらに、五日市憲法草案の記述が地図上に表記されておりまして、郷土学習がしやすいつくりとなっているように思えます。

皆様方からご意見をいただきましたので、それでは地図の教科書につきましてお諮りいたします。

皆様のご意見のとおり、帝国書院を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

異議なしと認め、令和6年度の使用教科用、地図につきましては帝国書院を採択いたします。

算数まで行きますか、もう少し。

では、続きまして算数の説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、算数の審議結果について報告いたします。算数の教科用図書は、6社から発行されており、現在採択されている教科用図書は東京書籍です。審議会において特に評価の高かったものは、東京書籍と大日本図書です。

東京書籍は、学習課題の解決に向けたヒントやポイント、単元のまとめなどが吹き出し等によって児童の言葉で表されており、主体的な学習を促す工夫がされていること、数直線についての学習内容が系統立てて丁寧に扱われていること、デジタルコンテンツを用いて家庭学習に活用できるよう工夫されていることなどの点で評価されました。

大日本図書は、1単位時間に取り組む学習の問題、めあて、まとめが分かりやすく示されており、児童の自力解決を促す工夫がされていること、発展的な課題としてプラスワンの問題があり、児童の学習状況等に応じた学びができることなどの点で評価されました。

その他の教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

算数の教科書の説明が終わりました。

次に、委員の皆様方からご意見を頂戴したいと思います。

先ほどまでは田野倉委員が1番で意見を述べていただきましたけれども、どなたでも結構です。どうぞ、よろしいですか。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私は、大日本図書と東京書籍で迷いました。1年から5年まで上下巻に分かれていて、

少しでもランドセルを軽くしてあげたいという気持ちがあります。イラストが東京書籍はとて分かりやすく、質問されている内容も発達段階の子どもにとってちょうど分かりやすくつくられている。各ページに児童に見立てたイラストで疑問などを出し、それについて次に展開していく、一緒に考える工夫がされている。大日本図書は、教員が児童に対して楽しく教えられたらよいのですけれども、考えさせる問題が多いと思うので、理解し切れない児童がいるうちに次へ進んでしまうと、算数嫌いにさせてしまうおそれはないだろうかと気になりました。

よって、東京書籍のほうを選びました。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

次に、坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

算数につきましては、どの教科書も数学的に物事を考える資質、能力を育てるための数の概念であるとか表し方、計算の意味から始めて図形、数量、グラフ等々系統立てて学習を進められるように当然構成されているわけですが、この中で東京書籍がよいなと思いました。他社にもありますが、1年生の1冊目がA4サイズとなっており、中でも文字、数字が大きくて、小学校1年生にとっても取り組みやすい、就学してすぐの児童が数学に相対したときに、取り組みやすいというのがとても大切だというふうに私思っております。この1年生の1冊目の教科書が非常によいなというふうに思いました。また、デジタルコンテンツもとても豊富で、かつ分かりやすいです。単元の導入、予習、授業学習、集団学習、様々なデジタルコンテンツが用意されています。また、これまでの学力調査の結果から分析してつまずきやすい箇所、これまでより詳しい文章であったり図解を加えています。また、追加でデジタルコンテンツでフォローできる、そういった教科書になっている点がよいと思いましたので、東京書籍を推します。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私は、この6社の中でも、啓林館と東京書籍と大日本図書、最終的にこの3社で考えさせていただきました。啓林館は、わくわく算数ということで、わくわく学ぶということが出ておりました。あとは分度器も附属でプラスチック製がついておりましたが、学びの中で内容が多少しつこいというような感じをしてしまいました。それに比べて、東京書籍は見やすい行間として物差しの指導が丁寧、あとはプログラミングも取り入れていること、それから1年生での時計の指導の工夫、以前不登校の子と関わっていたときにも、この時計の指導で最初につまずくというようなこともありますので、その辺のところの工夫がされていることが私の中で一番感じているところです。ただ、大日本図書も英語の数の読み方等も取り入れるなど、工夫されているなというふうに思いました。また、最終的に東京書籍を選んだ最後のところでは、古い今の電卓の時代からそろばんの歴史という

ころも取り入れているということで推薦させていただきました。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

田野倉委員。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私は、東京書籍を推薦したいと思います。巻頭の「学びのとびら」では、算数の学び方、教科書の使い方、ノートづくり方が示されています。各単元の前半は、丁寧に説明をして、中盤から後半にかけてはシンプルにというように、児童自らがそれまでに培った資質、能力を発揮し、問題を解決するように段階を追って主体的に学習に取り組める構成になっていると思いました。毎日の学習で使うページ以外に、もっと学習したい場合や役立つ情報を探すときに使う「新しい算数プラス」がオプション教材として巻末にまとまっており、個々の習熟度に応じた発展的学習ができるようになっている点も評価したいと思います。

以上のことから、東京書籍を推薦します。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございます。

それでは、私のほうからは、この算数の教科書6社それぞれよさがある中で、東京書籍の教科書がとてもしっかりとした教科書になっているのではないかと思います。特に算数教科の内容の単元学習、この冒頭には自学習の導入準備ページが示されていたり、あるいは系統立てた学びの工夫がされているように思われます。また、あきる野市のこれは恐らく算数研だったと思うんですが、開発された教材等も取り上げられていたり、児童に課題や学習の目当て、解決方法などが示され、特に今求められている主体的な学習ができる構成となっているように思われました。特に児童の具体的な生活場面を設定して、表記・表現についても写真、挿絵、図表など、児童の発達段階に応じた興味・関心の持ちやすい教科書のづくりとなっているように思われます。さらに、印刷製本や二次元コードの活用あるいは家庭学習に配慮された内容構成になっていると思われます。

皆様方の意見等も全ていただきましたので、それでは算数の教科書につきましてお諮りいたします。皆様のご意見のとおり東京書籍を採択したいと思います。いかがでしょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、異議なしと認め、令和6年度の使用教科用図書、算数につきましては東京書籍を採択いたします。

次に、理科の教科へ入りたいと思うんですが、ちょうど3時ということですので、ここで10分ほど休憩をしたいと思います。

それでは、よろしくお祈りいたします。開会は3時10分ということですのでお願いします。

休憩 午後 3時00分

再開 午後 3時10分

教育長（丹治 充君）

お時間ですので、再開いたします。

続きまして、理科の説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、理科の審議結果について報告いたします。理科の教科用図書は、5社から発行されており、現在採択されている教科用図書は東京書籍です。審議会において特に評価の高かったものは、大日本図書と教育出版です。

大日本図書は、各単元における学習の流れが色分けされているため、児童が見通しを持って学習に取り組むことができる工夫がされていること、デジタルコンテンツを使うと全国各地の自然観察スポットなどを写真で詳しく見ることができること、巻頭には児童の興味・関心を引きつける導入の工夫が示されており、巻末には様々な資料を多数掲載しているので、児童にとって理科が楽しくなる工夫があることなどの点で評価されました。

教育出版は、単元の導入でこれから学習する内容等について児童の興味・関心が高まるよう、児童が活動している様子やなぜだろうと感じさせる写真などを掲載していること、デジタル機器を使った実験や観察の際の写真や動画の撮影方法等を具体的に紹介していること、単元末の振り返りのページでは、学習内容の理解度や定着度などを確認できるよう工夫されていることなどの点で評価されました。

その他の教科用図書につきましては、資料をご参考いただきますようお願いいたします。報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

次に、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

理科につきましては、私は大日本図書を推薦したいと考えています。こちらの教科用図書につきましては、見通しを持って観察、実験を行うことなどとして、自然の現象についての問題の解決をする資質を育成するという構成ですけれども、身近な事象から疑問をつかんで自由に発想できるつくりになっています。また、全体的に大きく明瞭な写真や挿絵を多数使用しており、視覚的に理解することができる内容となっています。問題を見つけ、予想し、結果、実験する、そして考え、まとめるという問題解決のステップを区分けして、段階ごとに理解しながら進めていくことができます。また、これは論理的な思考の育成ともなるというふうに考えます。デジタルコンテンツが豊富で、観察、実験器具の扱い方、資料といった情報活用能力の向上も考えられています。

以上のことから、大日本図書を推薦いたします。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。そのほか。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私は、この秋川という地域があって、川の様子について各社の本を見させていただきま



した。その中でも、東京書籍は具体的で、実験もいいのかなというふうに思いました。大日本図書についても、同様に思いましたし、ほかの項目で比較して大日本図書のほうが発表するというときに、おもちゃショーという子どもたちを引きつけるような工夫も載せてありました。また、観察をする意味でも電気イルミネーションの家を示して、そこから興味を引いていくような学びについて載せられていたこと、それから実験用語の例で今火を扱うところでほとんどガスコンロになっているのですが、大日本図書ではアルコールのランプも一例として載せてあり、やはり子どもたちに危険というようなことを知らせる意味でも、こういうものについての扱いが載せられているということは私の興味を引きました。

というようなことで、大日本図書をここでは推薦させていただきたいと思います。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、田野倉委員。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

私も大日本図書を推薦したいと思います。巻頭の「理科の学び方」で、発達段階に応じて理科の学習の進め方が分かりやすく説明されていて、児童が主体的に見通しを持って学習に取り組めると思います。単元の導入には、大きなイラストや写真を効果的に使い、児童の興味・関心を高める工夫もあります。また、予想や計画などで吹き出しを使うことによって、自分の考えを持たせることもできます。資料「理科の玉手箱」やサイエンスワールドには、児童がもっと広く、深く学習することができるよう身近な生活の中で学習したことと関係のある資料を豊富に掲載しています。例えば、6年生の教科書にはボールを利用した防災訓練の様子として、秋川消防署の写真が掲載されています。また、デジタルコンテンツの中に自然観察スポット集というのがあり、5年生の流れる水の働き、6年生の土地のつくりと変化の学習で活用できる写真として、秋川の高尾橋の下ですとか六枚屏風岩の地層が掲載されているのもあきる野市民としてうれしいと思いました。巻末の「理科の学びに役立てよう」では、理科ノートの書き方、記録カード、器具の使い方などが説明されており、実践的に活用しやすいことも評価ポイントになります。

以上のことから大日本図書を推薦いたします。

教育長（丹治 充君）

続いて、小西委員。

委員（小西フミ子君）

私は、理科は 教育出版と大日本図書で今でも悩んでいるぐらいなんですけれども、まず教育出版では42ページに人体の実物大の図があること、とても大きくて子どもがこのように肺があるんだとか、腸はこんなになっているんだという実物大で自分の胸の中のことが分かるということも、とても興味があることでした。そして、問題、実験、結論の順で分かりやすいです。「振り返ろう」の欄もよいのですけれども、ぱっと見たときにあまり興味をそそらない地味さみたいなものも感じてしまいました。

大日本図書のほうは、單元ごとに大きな写真が使われて、次に何を学習するのか分かりやすく考えていく経過と結果までの流れがよかったです。デザイン、色使いも優しくて、豆電球を使ったおもちゃづくりなどの楽しさもあり、私は教育出版の実物大の人体図も捨

て切れないんですけれども、児童たちのためには興味をそそる大日本図書のほうがいいのかなと考えまして、大日本図書のほうを選ぶことにしました。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

最後に私のほうの意見ですけれども、理科5社の教科書を拝見する中で、紙面がA4判のつくりになったのは、ほかにもございましたけれども、そういった中でレイアウトも大きくて大変見やすいつくりになっているのが大日本図書かなというふうに思いました。また、文字の大きさや書体、配色あるいは行間などがユニバーサルフォントや、あるいはカラーユニバーサルデザインを踏まえ、本市が進めております特別支援教育にも配慮できるつくりとなっていると思われまます。GIGAスクール構想による一人一台のタブレット端末が配られ、教科書紙面の二次元コードを端末で読み取ると、本教科書に合わせて編集した実験、観察や実験器具等の使い方、そして単元問題の解答など、学習場面に関連したウェブコンテンツのオリジナル動画が表示あるいは活用できる教科書となっているように思われまます。また、観察、実験などが右側のページのほうに配置されておまして、次の見開き、左ページのほうには結果を配置しまして、児童が主体的に考え、取り組むことができるような配慮がある教科書だというふうに思います。

それぞれご意見をいただきましたけれども、それでは理科の教科書につきましてお諮りいたします。

皆様のご意見のとおり、大日本図書を採択したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

異議なしと認め、令和6年度の使用教科用図書、理科につきましては大日本図書を採択いたします。

続きまして、生活科について説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、生活科の審議結果について報告いたします。生活の教科用図書は、6社から発行されており、現在採択されている教科用図書は大日本図書です。審議会において特に評価の高かったものは、東京書籍と教育出版です。

東京書籍は、単元の流れが明確で分かりやすいこと、課題設定のページに具体的な生活場面が掲載されており、児童がより身近に感じながら学習に取り組める内容であること、写真や吹き出しを用いた説明が多く掲載されているため、児童の思いや願いを育み、意欲や主体性を高める学習活動につなげやすいことなどの点で評価されました。

教育出版は、児童に身に付けさせたい力が明確に示されていること、児童の気づきを促す記述が多くあり、児童の興味関心を高めるとともに、主体的に取り組むことができる工夫がされていること、目次や巻末の資料が分かりやすく、デジタルの図鑑が見やすいことなどの点で評価されました。

その他の教科用図書につきましては、資料をご参考にしていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。説明が終わりました。

それでは、委員の皆様方から意見を頂戴したいと思います。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

生活の教科用図書につきましては、就学初期、1、2年生が学校、家庭、地域の生活に関わることを通して、自分と人々、社会、自然との関わりを考える内容、これが大切なものだと考えます。その中で、教育出版が大きな写真、イラストを掲載して視覚的に就学初期、1、2年生ですから、児童の興味、関心を引いて、そこから疑問や気づきを得やすい、これがよいかと思います。また、絵本のような感覚でページをめくりながら自分と人々や社会、自然との関わりを考えられる内容になっているのが、生活の教科として教育出版よいなというふうに思った理由です。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

次に、岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私も教育出版を推させていただきたいと思っています。まず、私が目に付けたのは「まなびリンク」というところが載っていて、これが1年生、2年生の学びには分かりやすいのかなというふうに感じました。また、マスコットもうまく使っていました。こここのところでちょっと黒いというのが印象には残っていますけれども、子どもたちにとっては分かりやすいのかなと、またコンピュータを使うという「学びのポケット」というところもありまして、これが印象的になっていたのかなというふうに思います。そのほかの教科書会社を見させていただいたのは、それぞれ同様の工夫、いろいろされていていいなというふうには思いました。いろいろ本当に私の気持ちの中では僅差、本当に僅かなところですが教育出版の点数が私の中で多かったということです。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、いかがでしょうか。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私は、東京書籍を選びました。写真とイラストの割合がよくて色使いも優しい、それからいろいろな生活場面が具体的に出ていて、障害者用のマークの説明も丁寧、バランスもよいイラストで穏やかな気がしました。教育出版もよいのですが、いつも私はユニバーサルデザイン的に発達障害児の子たちにぱっと見の瞬間どうだろうなというふうに思ってしまうのですが、写真が多過ぎるとインパクトが強過ぎて集中しにくいのではと考えました。

よって、私は東京書籍のほうを選ばさせていただきました。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、田野倉委員。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私は、教育出版を推薦したいと思います。まず、単元の導入に「わくわくスイッチ」という欄を設定し、学習の動機づけを図り、児童が関心、意欲を持って学習に取り組める構成になっています。児童の活動している写真や動物、植物の写真が多く掲載されており、児童が主体的に楽しく学ぶことができると思います。「発展コラム」と「特設ページ」で中学年の理科や社会に、また「学びのポケット」では他教科への学習をつなげる工夫も感じました。ICT機器の活用方法も分かりやすく記載されており、デジタルコンテンツのワークシートやデジタル図鑑も使いやすいのではないかと思います。

以上のことから教育出版を推薦したいと思います。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、私のほうからは、この6社の生活科教科書を拝見する中で、やはり教育出版も身に付けさせたい児童の力を明記するなど、児童の関心、意欲を喚起する多くの工夫が示されているところが大変大事だろうというふうに思われました。特に児童の生活経験を呼び起こし、気づきを促す記載が多い印象を受けました。発達段階を考慮した中学年の理科や社会へのつながりが明確であったり、イラストやまとめの事例が大変見やすく工夫が図られているというふうに思われました、特に児童が学んだことを共有する「なにをかんじたかな」のページは、振り返り学習の定着を図る上で有効であると思います。さらに、デジタル図鑑が見やすいことなどを挙げることができました。そんなことで、教育出版というふうに私は思いました。

以上、皆さんからもご意見をいただきましたけれども、小西委員が東京書籍ということでございます。ほかの委員の皆さん方は教育出版ということですが、小西委員、いかがでしょうか。

委員（小西フミ子君）

どちらも迷いましたので、教育出版のほうで大丈夫です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

それでは、生活の教科書につきましては、教育出版を採択したいと思います。いかがでしょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、生活の教科書につきましては、教育出版を採択したいと思います。

続きまして、音楽の説明をよろしくお願いたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、音楽の審議結果について報告いたします。音楽の教科用図書は、2社から発

行されており、現在採択されている教科用図書は教育芸術社です。

教育出版は、配列と分量が児童の発達段階に適しており、歌唱教材や器楽教材については、児童の興味、関心が高まる内容が多く扱われていること、音楽活動に共同して取り組めるよう、学び方の例が示されていること、低学年の鍵盤ハーモニカの学習については、楽器の実物大の写真が掲載されており、楽器がなくても指使いの練習等ができることなどの点で評価されました。

教育芸術社は、題材を通して身に付けさせるべき力が明確に示されていること、児童が主体的に取り組むことができるよう、器楽や音楽づくりの具体的な学習活動が示されていること、表現と鑑賞の教材が関連して題材を構成しているため、児童に必要な力を身に付けさせやすいことなどの点で評価されました。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、ご意見等をいただきたいと思います。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私は、教育芸術社と教育出版社で教育芸術社のほうを推薦したいと思います。まず、文字の点で教育芸術社のほうが見やすいというふうに思いました。教育出版社のほうは丁寧であるがゆえに、教科書の中が混雑しているという印象を受けました。また、内容の中では、旋律バー、今テレビ番組等での歌を歌うときに旋律バーがよく示されますが、音楽の苦手な子、音を合わせる苦手な子とでは、効果的な指導法ではないのかと、また教育芸術社のほうではイラストでリズムが取りやすい工夫等がされていること、また学習マップが示されているというところで、教育芸術社を推薦させていただきます。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、ご意見等ございますか。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私自身、どの教科もそうなんですけれども、教員をしたことがありませんので、習う側として楽しくなる授業を望んでいるんです。そして、教育芸術社は、イラストがよく、ちょうどよいところで二次元コードでリコーダーのメロディを聴けたり、ホースの水で例えて息の量を試したり、特別支援が必要な児童にも分かりやすいと思います。教育出版は、楽しさを出していると思いました。空き缶やペットボトルなど、手づくり楽器や次の歌のイメージのための写真、サウンドオブミュージックの例を挙げて、音楽と人が仲よくまとまっていくことにつながるのだというようなことを表しているような感じがしました。ただ、両者とも歌うときの喉や口の中の容積を大きくする様子などは図解するところがなかったの、ちょっと残念に思ったんですけども、まず音楽は楽しくなることが第一と私は考えまして、最終的に私は教育出版のほうを推薦することにしました。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

音楽につきましては、どちらの教科書も音楽の楽しさ、生活や社会における音や音楽の種類、役割について系統立てて書かれているなどというふうに感じました。特に私は教育芸術社のほうが導入の1年生が堅苦しくなく、絵本を読んだり体を動かしたりしながら音楽と触れていく、そういう進め方ができる教科書というふうに思いました。拍手とか返事など、ふだんの生活の中にある音楽を例にして、特別なものではなくて自然なものとして音楽を捉えていけるというふうに考えます。

以上のことから、教育芸術社が取り組みやすいかなと思い選びました、

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、田野倉委員。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私はこの教育芸術社と教育出版と両方ともすばらしい音楽の教科書というふうに考えていて、ちょっと甲乙つけ難い感じになっています。まず、教育芸術社のほうは、各学年巻頭に1年間で身に付ける内容がまとまっていて、児童が見通しを持って学習ができます。毎時間ごとの目当てがはっきりと明示され、何を学ぶのか非常に分かりやすい、教材の配列にも系統性があり、6年間を通して音楽の力がバランスよく身に付くように考えられているというふうに感じました。児童が親しみやすい教材が多く、児童の関心や意欲を高める工夫がされています。見やすく、すっきりとした紙面で、写真や挿絵も美しく効果的に使われています。

一方、教育出版のほうですが折り込みになっているページが数か所あり、インパクトはあるものの、ちょっと使い勝手が悪いのではと思いました。見開きに掲載している「学びナビ」で学びのプロセスを示し、児童が見通しを持って、主体的に学習を進めることができるのは評価したいと思います。迫力のある写真などで視覚的に音楽の雰囲気を感じ取りやすい紙面となっています。児童がつまずきやすい鍵盤ハーモニカやリコーダーなどでは、単元の導入にページを割いて、スモールステップで着実に学びを進めていけるよう配慮されている点も評価したいと思います。

この2社、非常に迷っているのですが、どちらかといえば教育芸術社のほうを推薦したいと思います。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

最後に、私のほうはこの教科書2社の比較をしてみたときに、教育芸術社のほうがより生活や社会との関わりにも配慮したつくりとなっているように思えます。特に身の回りにある様々な音を見つけ、あるいは子どもたちが音や音楽に対して興味、関心が深まるような教科書内容であるように思えます。また、SDGsにつながる視点あるいは考えるきつ

かけがえできたり、さらに人権教育や道徳教育にも配慮した構成になっていると思われます。そして、デジタル教材やICT機器と一体的に利用できる内容になっているのではないかと、このような感想を持ちました。

それでは、音楽については教育芸術社のほうが多いわけですが、小西委員が推薦しております教育出版、それからその他の委員が推薦しております教育芸術社ということですが、小西委員、いかがでしょうか。

委員（小西フミ子君）

本当に甲乙つけ難く、とてもよくできている教科書だと思っていますので、皆様の意見と同じで。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

それでは、音楽の教科書につきましてお諮りいたします。

皆様のご意見を総合いたしますと、教育芸術社を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、異議なしと認め、令和6年度の使用教科用図書、音楽につきましては教育芸術社を採択いたします。

続きまして、図画工作の説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、図画工作の審議結果について報告いたします。図画工作の教科用図書は、2社から発行されており、現在採択されている教科用図書は日本文教出版です。

開隆堂出版は、表記の仕方やイラスト、写真などが視覚的に分かりやすく、参考、片づけ、振り返りなど丁寧に示されていること、身に付けるべき資質、能力に合わせて紙面を構成しており、キャラクターが学習のポイントを投げかける流れになっていること、児童が活動に取り組みやすいことなどの点で評価されました。

日本文教出版は、 Cutter やのこぎりなど安全指導について分かりやすく、丁寧に示されていること、題材の狙いや活動のヒントなどがちりばめられていて、発想を広げることができること、読み手に問かける文章が多く、吹き出しの言葉が児童にとって作品づくりのヒントになっていることなどの点で評価されました。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

説明が終わりました。

それでは、ご意見等をいただきたいと思います。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私は、開隆堂の教科書を推したいと思います。もう図画工作、両出版社とも内容的にはほぼカバーされております。ただ、日本文教出版社のほうは、折り込みが多いのはどうな

のかなというふうな感じを受けましたけれども、教科書の使い方についてはいいのではないかなと。開隆堂のほうは文字については目標の文字がくっきりしており、取り組むための目標を捉えるのに効果的かなと。また、学ぶ人への振り返りから未来の図等でイメージの工夫ができているのかなということで、私の中では今その点から開隆堂を推させていたきたいというふうに思いました。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

そのほかの皆様いかがでしょうか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

図画工作、非常に教科書を開くとわくわくする、そういった教科だと私は思っているところですが、どちらかというと日本文教出版のほうの方が私にはいいなと思いました。もちろん図画工作ですから、わくわくして、いろいろな取組をするわけですが、ふだん使わない道具を使いますので、安全指導等に力を入れるというのはとても大切なところですので、その点に重きを置いているのがよいなと思います。また、他の教科との関わり、つながりも記載されているので、図画工作だけではなくて、ほかの教科、社会であったり理科であったり、横断的な学びの効果を期待することができます。現代美術の資料も掲載されていて、児童の興味、関心をそそります。特に二次元コードから図工ギャラリーを見ることができて、制作意欲がかき立てられるようなすばらしい作品に出会えますので、こちら日本文教出版の教科書がいいのではないかなというふうに思います。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、田野倉委員。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

この日本文教出版も開隆堂も両方とも非常によくつくられていて、子どもたちが楽しく図画工作を学べるような教科書になっていると思いました。本当に甲乙つけ難いと思います。日本文教出版のほうは、子どもが生き生きと活動している姿の写真が多く掲載されていて、自分もやってみたいという意欲を持ちやすい。活動の場面ごとに学習をサポートする問いかけがあり、学習の流れが見えるため、学習の進め方が分かりやすい。巻末の資料の「材料と用具の引き出し」では、全ての子どもが材料と用具について安全で適切な扱いができるように、分かりやすく丁寧にまとめられています。発達段階に応じた内容となっており、他の教科とつなげたり、家庭、地域、未来へと学びを広げていく教科書となっています。

一方、開隆堂のほうも授業の狙いや学習の目当てがきちんと整理されていて、見開きで学習の流れや指導方法も紙面から読み取りやすいため、指導者がやりやすかったです。色合いよく製本され、掲載している写真も大きく、児童の興味や関心を引く工夫もあります。学びの資料として、巻末に道具や用具の使い方も詳しく説明されています。題材ページに設けたSDGsコラム、発達段階に応じてテーマを身近なものから社会全体へ広げていく構成、地域のよさを生かしたみんなのギャラリーなど、学びを生かし、つなげる工夫



も感じられました。

非常に迷うところですが、どちらかといえば日本文教出版のほうを推薦したいと思いません。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

最後に、私のほうですが、他の委員さんがやっぱり迷われたように……

委員（小西フミ子君）

教育長。

教育長（丹治 充君）

失礼しました。

どうぞ、小西委員。

委員（小西フミ子君）

すみません。図画工作なんですけれど、私も日本文教出版を選びました。日本文教出版は、写真の使い方が飽きずに楽しく、個性を尊重する傾向が伝わってきました。今すぐにつくってみたい、描きたい、そんな気持ちを誘発されるような印象を受け、開隆堂もとてもよかったです。ですが、特別な支援が必要な児童には集中しにくいのではと、またここで私は写真の多さが気になってしまいました。よって、最終的に私は日本文教出版を選びました。

教育長（丹治 充君）

大変失礼しました。ありがとうございます。

それでは、私のほうですが、今申し上げたように、日本文教出版、それから開隆堂、皆様が悩まれたように私も悩みました。特に開隆堂のほうでは、インクルーシブ教育の観点だとか、発達段階を考慮した作成がされているという点、それから一方、日本文教出版については、現在学校事故が非常に多い中で、安全指導についても分かりやすく、丁寧に示されているということ、それからさらには教科についていけない児童等についても、考えを広げていく、あるいは発想を広げるような、そんな仕掛けが見られるということから、私のほうではやはり日本文教出版のほうを推薦したいというふうに思いました。

以上で皆様方のご意見を伺いましたけれども、岡部委員が開隆堂出版、それから他の委員が日本文教出版ということですので、岡部委員、さていかがでしょうか。

委員（岡部秀敏君）

図画工作、この教科については私も興味あり見させていただいて、どちらも本来悩んでいたところです。どちらを選んでも、私は子どもたちのための教科書ではないかなというふうに感じておりますので、日本文教出版でいいと思います。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

それでは、お諮りいたします。

皆様のご意見を総合いたしますと、図画工作の教科書につきましては日本文教出版を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

異議なしと認め、令和6年度の使用教科、図画工作につきましては日本文教出版を採択いたします。

続いて、家庭について説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、家庭の審議結果について報告いたします。家庭の教科用図書は、2社から発行されており、現在採択されている教科用図書は東京書籍です。

東京書籍は、全ての題材が課題発見、課題解決・実践、評価・改善の3つのステップで展開されていること、食品のゆで方によって色や硬さ、臭いなどが異なることなどを考える調理実習を通して生活に活用する力等の育成を図っていること、デジタルコンテンツが豊富で、基礎的な技能を動画で確認することができることなどの点で評価されました。

開隆堂出版は、全ての題材において課題を見つけ、実践を通して課題を解決し、学習を振り返り、新たな課題を発見し、生活に生かすという3つのステップを繰り返す構成になっていること、各題材で働かせる生活の見方、考え方が4つの視点で分かりやすくイラストで示されていること、調理の手順が見開き、横向きに見やすく収まっていて、左利きの児童に対しても配慮がなされていることなどの点で評価されました。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

説明が終わりました。

それでは、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

家庭科、私は東京書籍を選びました。イラストもよく、日本での食生活の基本として、炊飯、おみそ汁のだしの取り方など載せているのと、下段に英語での言い方が出てくるのは、2社とも同じなんですけれども、東京書籍は最初に地震などの災害時の注意点、調理器具などの危険なものについての説明をされていることは、とても大事だと思いました。また、野菜や卵の適したゆで時間などについても詳しく出ており、私はそういう点が気に入って、東京書籍を選びました。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

次に、いかがでしょうか。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私は、同じく東京書籍を推させていただきます。どちらの教科書も、大変扱いやすくなっていると思います。私の中では、生活を支える暮らしの中のプログラミングが工夫されていること、それからJISマークの変化、2016年から変化しているところ、この内容が扱われていること、現在まだまだ両方混在されたマークがありますので、こういうところで小学生のうちから指導されているので効果的ではないのかなというふうに思いま

した。また、チェックをする欄が、開隆堂は目標チェック、東京書籍は手順チェックということで、ちょっと違いがありました。私の中では手順チェックのほうがいいのかなということで東京書籍を推させていただきます。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、いかがでしょうか。

田野倉委員。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

私も東京書籍を推薦したいと思います。全ての題材をスリーステップで展開していて、学習の見通しが立てやすいと思いました。児童に身近な話題や時代に合わせた素材、日本の伝統的な内容を扱うことで、児童の興味、関心を高められる点も評価したいと思います。「生活を変えるチャンス」では、児童が授業で学んだことを生かして解決方法を考え、家庭や地域と連携しながら実践できる工夫があり、主体的に取り組めると感じます。「SDGsでつくる私たちの未来」という特設ページでは、SDGsとの関連を意識しながら、日々の暮らしを工夫し、学びを広げられると思いました。巻末の「いつも確かめよう」のコーナーでは、家庭科の基礎的な技能が簡潔にまとめられている点もよかったです。以上のことから東京書籍を推薦します。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

家庭科の教科用図書につきましては、東京書籍がよいと考えております。内容につきましては、両方ともすばらしいというか、子どもたちにとって適しているものではありますが、例えば右利き、左利きの包丁の使い方について、開隆堂の教科書にもあるんですが、より大きく掲示されているのが東京書籍であったというふうに思います。また、ジャガイモの芽を取る、食中毒の事故等がある中で、そういった配慮についてしっかり記載されている、芽の取り方というものが記載されているのが東京書籍であったと思います。また、基礎・基本をしっかり押さえている動画コンテンツも豊富であり、さらには5、6年生、自分の2年間の成長を見開きで確認することができる、そういった教科書になっておりますので、東京書籍がよろしいかなというふうに考えました。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

最後に、私のほうですけれども、東京書籍のほうを推薦したいと思います。教科書の学習の系統性も明確に示されており、基礎・基本を通じて工夫される応用への流れもはっきりと示されていました。そして、実技を伴う教科の性質上、デジタルコンテンツが豊富で、様々な基礎技能を視覚を通して確認できるという点でも評価ができると思います。以上でございます。

それでは、教科書、家庭の教科書につきましてお諮りいたします。

家庭の教科書は、東京書籍を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、異議なしと認め、令和6年度の使用教科、家庭につきましては東京書籍を採択いたします。

続きまして、保健の説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、保健の審議結果について報告いたします。保健の教科用図書は、6社から発行されており、現在採択されている教科用図書は学研です。審議会において特に評価の高かったものは、東京書籍と学研です。

東京書籍は、全ての単元において児童の健康課題に気づいたり見つけたりする活動、調べる・解決する活動、深める・伝える活動、まとめる・生かす活動という4つの活動場面で構成されていること、デジタルコンテンツの内容が豊富で、ワークシートや思考ツールが用意されていることなどの点で評価されました。

学研は、どの単元においても、同じ学習の流れになっているため、児童にとって学習の進め方が分かりやすいこと、デジタルコンテンツには1単位時間ごとに振り返りシートが用意されており、児童が学習した内容を確認することができるのと同時に、指導者が評価に活用することができること、現代的な諸課題として多様性や防災教育、がん教育等について詳しく取り上げられていることなどの点で評価されました。

その他の教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

報告が終わりました。

皆様方から意見を頂戴したいと思いますのですが、いかがですか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

保健の教科につきましては、東京書籍の教科用図書を推薦いたします。こちら1つの時間を気づく・見つける、調べる・解決、深める・伝える、まとめる・生かすという4つのステップに分けられていて、段階を追って理解を深めていくことができる教科書となっています。また、医学的な内容が豊富に記載されておりまして、この学習をしている今だけではなく、そのときだけではなく、将来的な健康や安全について一通り学ぶことができ、自分の人生の保険につなげられるのではないかなど、そのように感じました。

以上のことから東京書籍の教科用図書がよろしいかと考えます。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

ほかの委員の皆様、いかがでしょうか。

田野倉委員。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

私も東京書籍を推薦したいと思います。1単位時間が4ステップ構成となっていて、児童自らが課題に気がつき、学習の見通しを持って課題の解決を図り、理解を深め、そしてそれを実生活に生かしていくことができる構成となっています。教科書に気づきや考えを記入するノート欄があり、児童が自ら主体的に学習に取り組めます。デジタルコンテンツの内容も多彩で、自分ごととして捉える工夫も感じられました。学習を広げたり深めたりするのに役立つ資料や、命や健康を守るために子どもたちに身に付けてほしいスキルが分かりやすく掲載されているのも評価したいと思います。

以上のことから東京書籍を推薦します。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も保健は東京書籍を選びました。3、4年生で心が元気になる内容の種類がとても多く、よかったです。二次元コードで多様性について載っていたり、将来的にわたっていろいろな内容がちょこちょこ出てくるのがよかったのと、誰にでも個性があることや医学的に赤ちゃん誕生についてなども載せてあったり、また5、6年生ではちょっとした豆知識、抜けた歯と牛乳の話などに至るまで、内容に児童が興味を抱くような話題が載っているのもよかったと思います。東京書籍を選びました。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

それでは、岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私も東京書籍を推させていただきます。ほかにも大修館書籍の中にも、「みんな違ってみんないい」というような言葉も載っていて、こちらにも気にはなりましたが、東京書籍の気づく・見つけるというところがよく、まとめて生かす、そういうこともあり、また薬物やがん、安全マップ等が分かりやすく載せられていて、これからの子どもたちが生きていく中での学びについては、効果的かなというふうに思いました。

学研で気になっていたのは、外部の専門家に相談というところで、外部の専門家、例えば心の相談室とか、そういうものが載っていれば、もっと効果的だったのかなと。その辺で私の中では悩ませていただきました。

以上で東京書籍を推させていただきます。

教育長（丹治 充君）

それでは、最後に私は6社から保健は出版されておりますけれども、それぞれやっぱり一長一短といますか、各教科書の特徴がよく表れているなというふうに感じます。それぞれ拝見する中で、特に東京書籍と学研の教科書について、さらにちょっと深掘りしてみましたところ、やはり東京書籍の1单元ごとに構成された内容、それから児童の生活体験

を通した課題に対して、どのような解決方法を取るべきか、そういったものを考えさせる  
つくりとなっています。また、坂谷委員も述べられていたように、医学的な学習に関する  
扱い、あるいはデジタルコンテンツも非常に充実しております、これなどは児童の興  
味・関心につながっていくものと考えられます。以上でございます。

それでは、意見をいただきましたので、お諮りいたします。

皆様のご意見を総合いたしますと、東京書籍を採択したいと思いますが、よろしいで  
しょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、異議なしと認め、令和6年度の使用教科、保健につきましては、東京書籍を  
採択いたします。

皆さん、大丈夫ですか。行きますか、最後まで。

それでは、続いて外国語について説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、外国語、英語の審議結果について報告いたします。外国語の教科用図書は、  
6社から発行されており、現在採択されている教科用図書は三省堂です。審議会において  
特に評価の高かったものは、東京書籍と三省堂です。

東京書籍は、1単位時間の学習の流れがパターン化されており、児童にとって学びやす  
く、指導者にとっては教えやすい構成になっていること、児童が教材を基に考えたり想像  
したりしながら進んで取り組みたくなる言語活動が多数掲載されていること、教科書に直  
接書き込めるスペースがたくさん用意されていることなどの点で評価されました。

三省堂は、ユニットのゴールイメージを動画で確認することができること、セクション  
ごとに目標が設定されており、児童が見通しを持って学習することができること、デジ  
タル教科書の操作性がよく使いやすいので、豊富な音声と動画で繰り返し学ぶことが  
できるとともに、英単語をゲーム感覚で楽しく覚えることができることなどの点で評価され  
ました。

その他の教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいた  
します。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

外国語の教科書の説明が終わりました。

続いて、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

田野倉委員。

教育長職務代理人（田野倉美保君）

私は、三省堂を推薦したいと思います。まず、各ユニットは自らのゴールを設定するホ  
ップ、言語活動に取り組みながら語句や表現を身につけるステップ、学習した語句や表現  
を使ってまとめの言語活動となるジャンプの3段階から構成されています。それぞれのレ  
ッスンでは、スモールステップのゴールが示されており、繰り返しながら無理なく学びが

進められると感じました。1 単位時間が見開きページで分かりやすい、ファンボックスでは楽しみながら文字や音に親しむ工夫があり、トライでは道案内や買い物など、特有の場面で使う表現を学び、実生活につなげられます。ストーリータイムでは物語、ハローワールドでは世界に目を向ける題材を扱っており、生徒の興味や関心を引き出す工夫も感じられました。別冊のマイディクショナリーでは、5、6 年生で扱う絵辞典でデジタル教科書のワードチャントともリンクしており、使い勝手がよさそうに思います。何より実際に使用する立場の現場の先生方が、非常に工夫されており使いやすいという評価は、参考にしたいと思います。英語は、音声教材もとても重要で、デジタル教科書の使い勝手が良いという評価は非常に大きなポイントになると思います。以上のことから三省堂を推薦したいと思います。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

ほかにかがでしょうか。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

私も英語は三省堂と東京書籍とで迷ったのですが、東京書籍のほうは書く欄がとても多く、英語が好きになりそうな子には楽しいかもしれないんですけども、初めて習うことでたくさん書くことが多いと、嫌にならなければいいけれどという心配がありました。三省堂は、発音などゲーム的に覚えられそうで、ごちゃごちゃしていなくて見やすく、写真とイラストのバランスもよいと思い、私は三省堂のほうを選びました。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

それでは、続いて坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

外国語、英語の教科書につきましては、全体的に読む、書くではなくて聞く、話すというところに重点が置かれているなど、英文法からではなくてコミュニケーションを重視しながら楽しんで学べるように、よく工夫されていると感じました。特に三省堂の教科用図書が、コミュニケーションのスタートである自己紹介から始まって、これがスモールステップで進めていけるように思いました。また、内容も非常に見やすく、人物を紹介するページに写真などで著名人、子どもたちのよく知っている人物などが載っており、児童の興味を引くものになっているかなというふうに感じました。学習量や内容とも少しずつ増やしていく構成になっており、児童にとって無理のない形になっているなというふうにも感じました。全体的に話すことに重点を置いて、楽しみながらみんなで学べる内容になっていると感じました。よって、三省堂を推薦いたします。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私は、東京書籍と三省堂と開隆堂とを悩んだところなのですが、それぞれ特徴のある教科書だというふうに思います。東京書籍には、マイピクチャーディクショナリーが別冊でついていたり各種サイズのカードがあったり、また開隆堂のほうはワードブックが5、6年のほうで別冊でついていたりというような特徴もあったかと思います。中でも私のほうは教科書の使い方について効果的な印象を持っています。また、プライマリープログラミングがあり、これを効果的に使うことができるということ、また、教科書の見やすさという点でも三省堂に好感を持ったところです。ということで、三省堂のほうを推薦させていただきます。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

私のほうからは、結論から申し上げますと、皆さんと同じように三省堂を推薦したいと思います。本教科書につきましては、学年ごとにつけたい力を明確に示しており、繰り返し使う中心的な語彙、あるいは表現を確実に定着させる内容となっていました。特にユニットの流れとして、これは田野倉委員もおっしゃっておられましたけれども、ホップ・ステップ・ジャンプの中で学習の見通しを立てたり、あるいは語句や表現を学ばせたり、そしてコミュニケーションに結びつけていくと、そしてジャンプというようなところでは、発表という表現につながる流れで設定されており、大変学びやすいのではないかと思います。また、タブレットによる個別最適な学びに対応した二次元コードの活用や個に応じた利用を図る上で、活動しやすい教科書となっているように思います。以上であります。

それでは、皆様方からご意見をいただきましたので、外国語、英語の教科書につきましてお諮りいたします。

皆様のご意見を総合いたしますと、三省堂を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、異議なしと認め、令和6年度の使用教科、英語につきましては三省堂を採択いたします。

続きまして、特別の教科道德の説明をお願いいたします。

指導担当課長。

指導担当課長（佐藤宗一郎君）

それでは、特別の教科道德の審議結果について報告いたします。特別の教科道德の教科用図書は、6社から発行されており、現在採択されている教科用図書は東京書籍です。審議会において特に評価の高かったものは、東京書籍、光文書院及び学研の3社です。

東京書籍は、冒頭の情報量を減らし、主題名と表題名を提示することで先入観なく教材を読むことができること、考えるためのツールとして心情スケールや心情円など、自分の心の中を見詰める工夫がシンプルに例示されていて、児童にとっても指導者にとっても使いやすいことなどの点で評価されました。

光文書院は、巻頭のオリエンテーションのページに特徴があり、なりたい自分を見つけ



るための工夫がされていること、情報モラルや人との共生など、現代的な諸課題を扱っていること、児童が学習の流れを理解し、見通しを持って学べる工夫がされていることなどの点で評価されました。

学研は、内容項目を冒頭に示していること、教材中の印象的な言葉などをタイトルの下に掲載していること、アスリートや著名人に関する教材が多く、児童がチャレンジ精神や力強い生き方を学ぶことができることなどの点で評価されました。

その他の教科用図書につきましては、資料を参考にさせていただきますようお願いいたします。

報告は以上です。

教育長（丹治 充君）

説明が終わりました。

次に、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。

田野倉委員。

教育長職務代理者（田野倉美保君）

私は、東京書籍を推薦したいと思います。シンプルなページ構成で、子ども一人一人に合わせられると感じました。また、「考えよう」の発問も2つに絞り、クラスの実態に合わせて柔軟な指導ができるようになっていきます。価値観を押しつけ過ぎず、考え、議論する道徳の実現を目指したつくりになっているのも大切なポイントだと思います。実話や生活に根差した教材が多く児童が親しみをもちやすい、いじめ、情報モラル、SDGsなど現代的な課題をバランスよく取り上げ、挿絵や写真もダイナミックで、児童の興味や関心を引く工夫を感じました。特にいじめ防止に関わる3つのユニットは、全学年が同じ時期に学べるよう配慮されており、いじめ防止週間や人権週間などに合わせて扱い、学校全体でいじめ問題に向き合うことができるようになっていくのも評価のポイントとなりました。

以上のことから東京書籍を推薦したいと思います。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

続いて、いかがでしょうか。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

私は、東京書籍と光文書院で悩みました。その中でも、東京書籍のほうの学習の記録プラス、そこで心を感じるツール、自分の心をどう表すかというようなところを効果的に捉えました。また、道徳の時間についての学びやすさ、学びについて分かりやすく示されていたところというところで、東京書籍が自分の中では印象が高かったというふうに思います。ほかの比較した教科書会社のところでも、扱う題材も効果的で、どの教科書会社にも甲乙つけ難く悩んだところですが、東京書籍を推させていただきますと思います。

以上です。

教育長（丹治 充君）

続いて、いかがでしょうか。

坂谷委員。

委員（坂谷充孝君）

道徳につきましては、私は東京書籍を推薦します。こちら身近にある話題や問題に関する教材が取り扱われていて学びに向かいやすい、二次元コードから朗読であったり紙芝居などの視聴がすることができて、後の振り返り学習、自己学習に活用しやすいなど感じました。また、審議会資料からも使いやすいという声が見受けられます。内容も、価値観の押しつけではなく、ともに考えながらどうすればよいのか、自分の答えを探していくように記載されています。道徳に関しましては、唯一の正解のようなものを押しつけないところが重要だというふうに思っています。また、著作関係に全国各地の方が携わっているということで、地域独特の価値基準が偏ったりしないということが非常によいのかなというふうに思いました。以上によって東京書籍を推薦いたします。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

ほかに。

小西委員。

委員（小西フミ子君）

教科書採択のたびに、私は道徳はほとんど読み込んでいってしまいます。そして、本当に6社あるうち同じ教材が使われているところも幾つかありましたけれども、多様性を口にする機会がふえてきた中で、東京書籍の3年生の「気持ちが分かると気持ちが変わる」の考え方や、4年生で取り上げられている外国の学校生活と日本での習慣の違いや、6年生で取り上げられていた聴覚障害者の「僕の名前を呼んで」の題材が個人的に身近な内容となっていたこと、それから実際に資料館に見学に行って強くショックを感じたハンセン病のことや、私ごとですが、個人的に慰霊に行ってきた直接見たり聞いたりして、かなりショックを受けました東日本大震災についても、生々しい気持ちでこれは伝えていかなければならないという思いを新たにしたばかりでした。

光村図書の3年生の「ありがとうの気持ちをこめて」という内容は、私の中でぐっと来てしまったこともあったんですが、本当に全て6社甲乙つけ難く、どれにしたらいいんだろうと思うぐらいほとんど読んでしまうと、どれもいいところばかりなので迷いました。先ほど私が申しあげました「僕の名前を呼んで」や「気持ちが分かると気持ちが変わる」、ハンセン病など、東日本大震災のことも全部入っていたので、東京書籍を推したいと思います。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

それでは、私のほうの話をしたと思います。道徳の教科書につきましては、この6社について拝見いたしましたけれども、いずれの教科書も大変内容も、そして調査等についても、各社それぞれ労力を費やした教科書になっているというふうに思いました。そうした中で、総体的に東京書籍の新しい道徳が内容の構成、配分・分量が適切だと思います。また、表記・表現もユニバーサルデザイン教科書体が使用されるなど、大変読みやすくな

っていました。どの教材も、図形等の効果的な扱いが可能であるところの二次元コードが取り入れられたり、あるいは朗読が可能となっていました。さらに、いじめなどの扱いについても深く考えることのできる組み立てとなっており、現在や未来に向けた持続可能な社会についても扱われております。そうしたことから、生き方についてよく考えられる構成、そしてつくりになっていると思えました。

全ての皆様方のご意見等を伺いましたので、それでは特別の道徳の教科書につきまして、お諮りをしたいと思います。

皆様のご意見を総合いたしますと、東京書籍を採択したいと思います、よろしいでしょうか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、異議なしと認め、令和6年度の使用教科書、道徳につきましては東京書籍を採択いたします。

今まで教科等について採択をしまいいりましたけれども、特にここでご質問等、委員の皆様方ありますでしょうか。よろしいですか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

質問等がないようですので、質疑を終了いたします。

議案第15号令和6年度使用教科用図書（小学校）の採択については、ただいま決定したとおり承認することに異議はございませんか。

《異議なし》

教育長（丹治 充君）

異議なしと認めます。

日程第1 議案第15号令和6年度使用教科用図書（小学校）の採択については、ただいま決定しましたとおり承認されました。

以上で本件については終了とさせていただきます。

それでは、ここで暫時休憩いたします。10分間の時間を取りますので、開始時刻は4時40分から行います。

休憩 午後 4時28分

再開 午後 4時40分

教育長（丹治 充君）

それでは、大変お疲れさまでした。

続きまして、次第の報告に入ります。

日程第2 教育長及び教育委員報告に入ります。

私からは1点報告させていただきます。コロナ感染症の5類移行に伴いまして、様々な教育委員会事業が中止になっていましたけれども、ここで4年ぶりに様々な行事が開催され、またそういう機会が増えてまいりました。そういった中で、7月2日に行われましたあきる野市防災・安全地域員会主催の防災コンクールが開催されまして、秋多中学校、増戸中学校、五日市中学校、増戸小学校の児童生徒の皆さんが参加しまして、中学校の部で

は五日市中学校の女子の2チームが優勝、準優勝でした。3着には秋多中の男子が入り、小学生のチームもオブザーバーで参加されていたわけですが、やはりきびきびと子どもたちが動いているというような点で、町内会、自治会の皆さん方も大変感心されておられ、また消防署から、子どもたちも助けられる側から助けるほうへ、もう十分に中学生の場合にはやれるというようなお話もいただいて、大変皆さんからは賞賛をされました。

それから、中学校の部活動ですけれども、秋多中学校剣道部が東京都で優勝し、関東大会の個人、団体、それから全国大会の個人、団体に出場いたします。関東大会が神奈川県の小田原市、そして全国大会が愛媛県の松山市で開催されることになりました。また、東中学校では水泳が個人戦で関東大会に、それからソフトテニスが関東大会、御堂中学校では陸上部の400メートル走で茨城県の関東大会、愛媛県松山市の全国大会に出場する予定です。また、増戸中学校のほうでは体操が関東大会に出場します。ここで上位成績を収めると、全国大会のほうにつながっていくというようなことでございます。それから、五日市中学校のほうでは陸上競技の棒高跳びが茨城県ひたちなか市での関東大会に出場する予定だそうです。なかなかおめでたいニュースも少ない中、やっと子どもたちの活動が実って、皆さんに報告できました。

私のほうは以上です。

そのほか委員の皆様方から何か報告ありますでしょうか。

岡部委員、昨日はいかがでしたか。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

昨日、東京都市教育長会研修会に参加させていただき、細菌についての勉強をしてきました。地球全体で見ると、まだまだそういう細菌あるいはウイルス関係での困っている国々、子どもたちや大人も多くいるなというふうな感じを受けました。ですから、今コロナウイルス感染症が収まりつつという、2類から5類に変わって、そういう時期でもありますがけれども、まだまだ油断せずに自分たちは生活しなければいけないなというようなことを感じてまいりました。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

ほかの皆さん方、いかがですか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、報告のほうは終わりにしたいと思います。

最後に、事務局のほうから今後の日程等についてご案内をお願いいたします。

石川課長。

教育総務担当課長（石川尚昭君）

それでは、私のほうから今後の日程等についてご案内させていただきます。

初めに、7月28日金曜日、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団臨時評議委員会が新宿NSビルにて開催される予定でございます。丹治教育長が出席いたします。

続きまして、8月1日火曜日、東京都市町村教育委員会連合会第2回研修推進委員会が東京自治会館にて開催されます。こちらにつきましては、小西委員に出席をお願いしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

続きまして、8月9日水曜日になります。東京都市教育長会幹事会及び定例会がウェブ会議にて行われます。

最後に、次回8月の定例会でございますが、8月23日水曜日午後2時から、505会議室で開催いたしますので、よろしく願いいたします。

私からの案内は以上でございます。

教育長（丹治 充君）

それでは、以上をもちましてあきる野市教育委員会7月定例会を終了いたします。

閉会宣言 午後4時45分